

校訓	真善美	平成31年度学校だより	発行日	令和元年7月5日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 —豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる—	「荒中だより」 第11号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

## 後悔を次へのステップに

6月16日(日)の陸上競技、22日(土)のバドミントン、水泳に続いて、29日(土)から他の競技の『総合体育大会』も始まり、市内各会場において熱戦が繰り広げられています。私は会場に足を運び、皆さんが試合に打ち込む姿に声援を送りながら、体全体で喜びを爆発させる姿、ボールがつながらず悔しがる姿、チームメイトを必死で応援する姿、試合後感極<sup>ま</sup>って涙する姿など**一生懸命に取り組む皆さんのその姿から多くの感動と勇気をいただいています。**



現在フランスでは女子サッカーのワールドカップが開催されています。日本は予選リーグを2位で通過し、決勝トーナメント一回戦でオランダと対戦しました。試合は日本時間の6月26日早朝でした。私は4時に起床し、テレビの前でなでしこを応援しました。1-1の同点で前半を折り返した試合は、後半日本が押し気味に進め何度も決定的なチャンスがありましたが、ゴールを割ることはできませんでした。



すると後半終了間際、熊谷紗希<sup>まぎわ くまがいさき</sup>選手のハンドによって相手に与えたペナルティ・キックから失点し、日本は負けてしまいました。試合後、責任を感じ号泣する熊谷選手に、所属チームの同僚のオランダ人選手が歩み寄り温かく抱きしめる様子が話題となり称賛されています。

しかし、前回大会準優勝メンバーの永里亜紗乃<sup>ながさとあさの</sup>さんは、東京オリンピックに向かうなでしこへのエールを込めて、「試合が終わって泣いている選手がいたが、泣くのは何か後悔があるから。**私は泣かないために準備し、努力してきた**」と言い切っています。熊谷選手の他にも泣いている選手がいたので、永里さんが誰のことを言っているのかはわかりません。しかし、熊谷選手は間違いなく自責<sup>じせき</sup>の気持ちや後悔の

念があると思います。私は熊谷選手が今回のことを糧かてに一回り大きく成長し、東京オリンピックの舞台に立ってくれることを期待しています。

総体を終えた3年生の皆さんの中にも悔し涙を流した人や、今までを思い返すと後悔することがある人がいると思います。その涙や思いを忘れず、何かを感じて一歩前に踏み出してください。そしてこれからの行動が少しでも変わっていくことで、皆さんの人生はより豊かになっていくと思います。

保護者の皆さま、各会場でのたくさんの熱く温かいご声援やこれまでのサポートありがとうございました。まだ総体が続く皆さん、次のステージでのさらなる飛躍を祈っています。

## 伊丹市総体成績報告 No. 1

【バドミントン】 男子団体 優勝 女子団体 優勝

男子シングルス 優勝 山内育海

男子ダブルス 2位 梶川朋哉、中川颯太 3位 中尾優太、中尾浩太 滝本翔平、幸田梨世

女子シングルス 優勝 永野亜依 2位 鈴谷凜

女子ダブルス 優勝 中司和花、松井ゆうか 3位 中村美月、中西ひより 大西礼恋、富田理子

【陸上競技】 男子団体 3位

共通男子4×100mR 3位 難波・坂東・柴田・高寺 共通女子4×100mR 3位 竹内・尾畠・澁井・岡田

低学年男子4×100mR 2位 石橋・荒井・上村・平田

3年男子100m 2位 柴田光二郎 2年男子100m 3位 脇阪泰地

共通男子400m 3位 坂東宏祐 共通男子110mH 1位 高寺琉羽 2位 柴田光二郎

共通男子走高跳 1位 高寺琉羽

1年女子800m 3位 増田真愛 共通女子100mH 1位 尾畠琴真

共通女子砲丸投 1位 富田尚美 共通女子円盤投 1位 富田尚美



**自信と誇りを持てる学校を創ろう!!**